

令和2年度 採用試験開始 ～感染症防止対策を徹底～



長崎地本（本部長 西田洋一郎・海佐）は、6月13日（土）・14日（日）の大村市における今年度初めての自衛官候補生採用試験を皮切りに、20日（土）長崎市において第1回幹部候補生採用試験を、27日（土）・28日（日）に県内各地で第1回一般曹候補生採用試験を実施しました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で採用試験の実施が延期されていましたが、全国的な緊急事態宣言解除を受け、実施されたものです。県内の大学生や既卒者などが陸・海・空それぞれの要員区分や採用区分で受験し、男性141名、女性46名が受験しました。

例年と違い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、受験者を含む試験関係者の事前の体温チェック、関係者の対人距離の確保、フェ

イールドやビニールカーテンの設置による飛沫防止、マスクの着用、手指や人が触れる部分のこまめな消毒などに十分配慮した上で実施しました。受験生にも昼食時の大声での私語を慎むことなどを要望し、やや緊張感漂う中で試験となりました。

受験生からは、「感染症防止対策が十分にされていて、安心して受験できた」となどの意見も聞かれ、対策が一定の安心感に繋がっていることが確認できました。

今後も第2回となる幹部候補生、一般曹候補生などの採用試験が予定されています。そのほか、年間を通じて様々な採用区分で隊員を募集しています。高校生に対する募集活動も7月1日に解禁され、本格化しているところです。

お知り合いに募集対象年齢（18歳～32歳まで）に該当する、やる気あふれる若者がいらっしゃる、やる気あふれる若者がいらっしゃる方は、お近くの長崎地本出張所等にお気軽にご連絡下さい。また、長崎地本公式のホームページ、ツイッターやインスタグラムでも採用情報、新入隊員の生の声、説明会やイベントなどを紹介していますので、ぜひご覧ください。

長崎地本は、ともに国防を担う優秀な人材の確保のため、引き続き自衛隊のPRに努めるとともに、感染症防止対策を徹底し採用試験を実施してまいります。

（募集課）



発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

島原「いのりの日」追悼行事に参加



6月3日（水）、島原地域事務所（所長 有山泰斗・陸佐）は、島原市復興アリーナ敷地内にある消防団殉職者慰霊碑前において、「いのりの日」追悼行事へ参加しました。

この行事は、平成3年6月3日に発生した、雲仙普賢岳大火砕流により犠牲となられた方々を追悼する行事です。島原市では、この日を「いのりの日」と定めており、今回で22回目となります。また、この時期には、各近隣自治体などで追悼行事や小中学校では災害学習がおこなわれるなど、この災害の記憶を風化させない取り組みが行われています。

当日は、天候が悪く足元も悪い中ではありますが、慰霊碑では朝から関係者参列の

陸自入隊者、母校を訪問

6月5日（金）、琴海地域事務所（所長 中村恭博・陸曹長）は、本年4月に陸上自衛隊大村駐屯地第16普通科連隊（連隊長 杉原正典・1陸佐）へ入隊した山田智大候補生による母校（西彼農業高校）校長（原口三徳先生）への訪問を計画し、引率しました。

原口校長をはじめお世話になった先生方に、入隊してからの心境の変化、同期達と切



もと献花がおこなわれました。大火砕流が発生した午後4時8分には、島原市全域でサイレンがなり、多くの市民が黙とうをおこない犠牲になられた方々を追悼しました。

島原地域事務所は、当時災害派遣活動に携わった隊員の所感文などの雲仙普賢岳噴火災害資料や、慰霊碑前に展示してある、当時災害派遣に使用されたヘリコプター及び装甲車について、参列した方々に説明を行いました。今後も

磋琢磨し頑張っていることや集団生活の苦労話など教育隊の様子を報告し、笑いあり感嘆ありで校長室は終始和やかな雰囲気です。原口校長は成長している卒業生の姿を見てご満悦でした。

山田候補生は、入隊後の自身の変化として、親の有難みが痛いほどわかったこと、仲間たちを思いやる気持ちが強くなったこと、時間の有効活用ができるようになったこと、周囲に気配りできるようになったこと、周りに感謝できるようになったこと、身だしなみに気をつけるようになったこと、原口校長をはじめお世話になった先生方に、入隊してからの心境の変化、同期達と切

今回の訪問は、我々にとっても、入隊者の話を聞き初心に戻れるとても良い機会となりました。琴海地域事務所は、これから入隊者の近況を適時に把握し、学校と卒業生のかげはしになれるよう努力していきます。

（琴海地域事務所）

災害派遣期間最長の1658日となる雲仙普賢岳噴火災害での自衛隊の活動や、教訓などを後世に伝える取り組みを島原市と一緒に、地域住民の自衛隊に対する理解を深めてもらうよう努力していきます。

（島原地域事務所）



第2の人生の船出に向けて準備開始

陸士就職補導教育

5月25日(月)、長崎地本(本部長 西田洋一郎1海佐)は、大村駐屯地で実施された陸士就職補導教育を支援しました。

本教育は、任期満了退職予定隊員に対して、職業選択に必要な知識を付与するとともに、合同企業説明会での服装・態度及び対応要領等を説明して、再就職に対する意識改革を図る目的で実施されており、地本が毎回支援しています。教育には、第16普通科連隊をはじめとする大村駐屯地所在部隊の任期制退職予定隊員と援護担当者等27名が参加しました。まず初めに長崎地本援護課長から現在の雇用・

経済情勢について説明しました。参加者は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済状



大村駐屯地援護室担当者による説明

況の悪化についてはよく報道されてきたことから関心が高まると、注意深く耳を傾けています。その後、地本大村駐屯地援護室担当者による合同企業説明会における注意事項、応募書類作成上の注意事項、ビジネスマナー等の教育及び地本予備自衛隊担当者による予備自衛隊の説明が実施されました。参加者の多くは、学校卒業後すぐに自衛隊に入隊したため履歴書等書類作成やビジネスマナーについて経験が浅く真剣な表情で教育を受けていました。

長崎地本は、就職予定隊員、援護担当者及び各級指揮官と緊密に連携し退職予定隊員が安心して第2の人生を出発できるように就職の援助を充実させていきます。

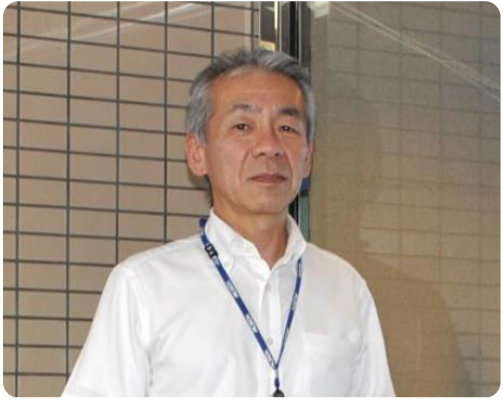
(援護課)

雇用企業様の声

長崎総合警備株式会社

人事部 部長

中島 博行



○企業概要及び事業内容等
当社は企業や公共施設に対する警備を事業目的として、総合警備保障株式会社(A.L.S.O.K.)と長崎県内の有力企業が出資して昭和44年7月に設立されました。

設立以来、長崎県内警備業界のリーダーとして、県内全域にわたる機械警備ネットワーク、貴重品等の運搬警備ネットワークを確立し、施設警備も含め、地域の「安全」「安心」を提供すべく活動しています。

○退職自衛官を採用するに至った経緯

自衛官の使命感や志といったものは、当社事業にも通じるものがあると考え、退職者の皆さんに力を貸していたらいいなと考えました。

○退職自衛官の仕事内容

主に次の業務に従事していただいています。

- ・警備輸送業務・現金輸送車で貴重品等の警備輸送を行う。
- ・機械警備業務・契約先からの警報に応じ、現地の確認・点検を行う。
- ・常駐警備業務・工場等の施設に常駐し、出入管理・巡回点検等を行う。

○退職自衛官の働きぶり

任務に忠実で、責任感を持って担当業務を遂行していただいています。規律を重んじ、けじめのある勤務態度は、他の社員の模範となっています。

○その他

退職自衛官在職人数
陸上自衛隊35人、海上自衛隊23人、航空自衛隊2人

Twitter つぶやきPickUp



自衛隊長崎地方協力本部
@NagasakiChihon

2020/06/03

今年、#佐世保教育隊に入隊した、#川棚高校出身の石橋佐峡くんが休暇を利用して母校訪問をしてくれました。母校では、吹奏楽部、先生、志願を予定している学生に海上自衛隊での生活について話をしてくれました！！
本人は鍛えまくり体脂肪 1桁台凸体に気をつけて頑張ってください！！



10 116 995

フォロワー数 10,000 (2020/06/21 現在)

Twitter のフォロワー数
1万人達成しました！！

寄稿 長崎県自衛隊家族会総会を開催



5月25日(月)、長崎県自衛隊家族会(会長 浦田正)は、大村市内において長崎地本(本部長 西田洋一郎1海佐)の支援を受け、定期総会を開催しました。

今年、新型コロナウイルス感染症防止を考慮し、3密を避けるために規模を縮小しての開催となりました。当日は、各地区会長、役員等合わせて11名の参加があり、事務局長

冒頭、会長からの挨拶では「新型コロナウイルスの影響を受け、今回はこのような形で開催されることをご理解いただきたい。また、今まで以上に隊員を支援していきたい。」と述べられました。

表彰式では、自衛隊家族会会長表彰受賞者2名、県自衛隊家族会会長表彰受賞者1名に対し、会長より賞状と記念品がそれぞれ授与されました。最後に「わたくしたちの信条」を役員一同で読み上げて、改めて家族会員としての自覚を胸にしました。今年度は活動に制限はありますが、会員の増勢及び発展のため長崎県自衛隊家族会一丸となって取り組んでまいります。

長崎県自衛隊家族会事務局 横尾 博道 局長